

ヒートアイランド対策関係府省連絡会議
学識経験者ヒアリング
議事概要

日時：平成14年12月20日(金)10：00～11：30
場所：中央合同庁舎3号館11階共用会議室

【東京のヒートアイランド現象の現状と観測の課題】

(東京都立大学大学院理学研究科 三上 岳彦 教授)

- ・東京におけるヒートアイランド現象の現状、形成要因、東京都において始まった都内観測システムについて説明。

【ヒートアイランドに関する予測モデルの現状と課題】

(独立行政法人建築研究所環境研究グループ 足永 靖信 主任研究員)

- ・ヒートアイランド現象に関する最近の研究事例、予測モデル、そして、シミュレーションモデルによるヒートアイランド対策効果について説明

【都市のヒートアイランド対策としての未利用エネルギー活用、排熱処理】

(横浜国立大学大学院環境情報研究院人工環境と情報部門 佐土原 聡 教授)

- ・都市のエネルギー供給とヒートアイランド現象との関連、省エネルギー、そして、都市の人工排熱の処理方法といった観点から説明。

【総合討議】

- ・学識経験者の各専門分野に関して、各省担当者との間で、以下についての議論が展開された。
 - ヒートアイランド現象のメカニズム
 - 地球温暖化とヒートアイランド現象との関連
 - 国際的な状況比較
 - 数値シミュレーションモデルによる解析
 - 人工排熱処理の方法

(了)